

令和3年度事業報告

当事業団では、児童・青少年の福祉の増進を図るため令和3年度事業として、本部、さぬきこどもの国、五色台事業所、屋島事業所の各事業所において、次の事業を実施した。

1. 本部

(1) 管理的経費

627千円

① 理事会及び評議員会の開催

会の名称	開催年月日	開催場所	主要議題
令和3年度臨時評議員会	令和3年5月14日	※みなし決議	・評議員の選任
第114回理事会	令和3年6月2日	香川県社会福祉総合センター	・令和2年度事業報告 ・令和2年度収支決算 ・定款の変更 ・定時評議員会の招集
令和3年度定時評議員会	令和3年6月17日	香川県社会福祉総合センター	・令和2年度事業報告 ・令和2年度収支決算 ・定款の変更
第115回理事会	令和4年3月24日	アイパル香川	・令和3年度収支補正予算 ・令和4年度事業計画 ・令和4年度収支予算 ・資産運用計画 ・評議員会の目的である事項 ・評議員会の目的である事項の提案者
令和3年度臨時評議員会	令和4年3月25日	※みなし決議	・理事の選任
第116回理事会	令和4年3月25日	※みなし決議	・代表理事の選任

② 法人税等諸経費

公3 子育てしやすい環境づくり推進のための子育て支援事業

(2) 基金事業

基金（5億円）の運用益により、地域における子育て支援や児童の健全育成の推進を目的として、下記の事業を実施した。

① 情報提供事業

地域子育てサポート事業	379千円
<p>妊娠から出産、子どもの成長にあわせた子育て支援情報誌を発行し、乳幼児健康診査時などに、母子愛育会や民生委員・児童委員など地域の子育てボランティアの協力を得て、保護者に手渡すことにより、地域の子育て支援の充実を図った。</p> <p>○情報誌の発行</p> <p>・ご存知ですか？子育て支援サービス「みんな子育て応援団」</p>	

約8,500世帯に配布

子育て支援事業

2,815千円

子育て家庭が気軽に子育て支援に関する情報に接することができるよう、食育や運動、小児科医のコラム、イベント情報等、子育てに関する情報を掲載した情報誌を、県内保育所、幼稚園、小学校等を通じて子育て家庭へ配布した。

- みんな子育て応援団かわら版「かがわ Kid's club」の発行
発行：年3回（令和3年7月、11月、令和4年3月）
発行部数：各150,000部

② 環境づくり事業

臨時託児室設置促進事業

7千円

講座や研修会、イベント等を開催する際に、臨時の託児室を設けるための経費の一部を助成することにより、子育てと社会参加が両立できる環境づくりの推進を図った。また、利用を促進するため、イベント主催者等からの問い合わせに対し、託児団体の情報の提供を行った。

- 助成の概要
 - ・助成額 3万円/団体（上限額）
 - ・助成対象団体 営利を目的とせずにイベント等を開催する主催者（子育てサークル、団体等）
 - ・令和3年度助成団体 延べ3団体
※他2団体はオンライン開催、イベントの中止等により託児室設置を取りやめ

地域子育て支援事業

0千円

香川県内の子育て支援団体が集合し、子育て家庭へ向けて団体の活動を紹介するとともに、それぞれの団体との交流促進を図る機会とするための子育て支援イベントを開催予定であったが、新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止した。

2. さぬきこどもの国

子どもたちに魅力的な遊びや創造的活動の場、科学に親しむ場を提供し、児童の健全育成及び子育て支援活動の活性化を図った。

公1 さぬきこどもの国の管理・運営その他児童・青少年の健全育成事業

○新型コロナウイルス対策のため、

- ・令和3年4月29日～5月2日 わくわく児童館休館（スペースシアター除く）
サイクルセンター、YS-11、ことでん休止
- ・令和3年5月3日～5月31日 全面休園
- ・令和3年6月1日～6月18日 平日のみ開園
- ・令和3年8月7日～9月30日 全面休園
- ・令和3年10月2日～10月3日 全面休園
- ・令和4年3月8日～3月21日 平日のみ開園

○児童館2階リニューアル工事のため、

- ・令和4年1月12日～2月6日 児童館のみ休館
- ・令和4年2月8日～2月26日 児童館の部分開館

(1) 管理運営事業

314,538千円

さぬきこどもの国の施設・設備等の維持管理を行った。児童館展示物や屋外遊具の修繕を行い、来園者の安全性や利便性の向上を図った。

インフォメーションでは、新型コロナウイルス対策としてマスクの販売を継続する他、ベビーカーや車いす、遊具の貸出等を行い、利用者サービスの充実を図った。また、加盟している香川県観光協会や多言語コールセンターサービス等の各種サービス、無料公衆無線LANサービス「かがわWi-Fi」を引き続き活用し、利用者の利便性向上に努めた。

空港周辺施設と連携して幅広い年齢層の利用を促進するため、「高松空港周辺施設連絡会」の事務局を担い、連絡会のSNS公式アカウントから加盟施設や周辺地域の情報を発信した。

(2) 育成事業

42,581千円

① 企画事業

令和3年度は昨年度に引き続き、新型コロナウイルス感染症の影響を受け、企画事業の中止や日程の変更が続いたが、出演者や講師と相談のもと、オンラインへの切り替えや実施方法を修正する等して、例年に近い回数イベントを開催することができた。例えば、JAXA関係者を講師として招いた「宇宙飛行士検定」、屋外を活用し東ウイングを巡る「お遍路ウォーキング」、香川県出身パイロットを招いての「ANA航空教室」等、コロナ禍であっても、子どもたちが様々な体験

を通じて学べる機会を提供した。

ゴールデンウィークの大型イベントは中止となったが、オンライン上でドミノを使った施設紹介の動画配信を行い、再生回数が4,000回を超えた。

2階展示遊具等のリニューアルについて、完成時の式典を予定していたが中止となり、代わりにホームページや新聞・雑誌等で広報を行った。

新たに開設した公式インスタグラムを利用して「インスタグラムフォトコンテスト」を開催し、さぬきこどもの国の屋外エリアの魅力を利用者自らが発信してもらうことができた。

企画事業については、一回あたりの収容人数を制限する代わりに複数回開催する等、新型コロナウイルス対策時の対応が定着しつつある。

その他、芝生広場で行っている「わんぱくキッズ」では、体を動かす機会が減っている子どもたちに外遊びの楽しさを伝えるとともに、屋外エリアの活用にもつながった。

企画事業の日程は別紙「令和3年度企画事業等実施報告」のとおり。

② スペースシアター運営事業

平成31年4月の光学式投影機とプロジェクター設備のリニューアルを受けて、星空の生解説に力を入れた他、宇宙やオーロラの映像美を感じることができる番組の上映を行った。また、幅広い年代が楽しめる「星空ミュージック」や乳幼児向けの「キッズプラネタリウム」等のイベントも開催した。なお、新型コロナウイルス対策のため、入場者数を定員の半数に制限し、手指消毒やマスクの着用の徹底をお願いした。

○ プラネタリウム一般番組

プラネタリウムの星空とCG映像を組み合わせた、星と宇宙に関する下記番組を上映した。上映時間40分（星空解説を含む）

対象	番組名	投影期間	内容
一般	それいけ！アンパンマン ～星の色と空の色～	令和元年12月 ～ 令和3年度	きれいな夕焼けを描くゆうやけまんは、いつも絵筆をふるってきれいな夕焼けを見せてくれます。そのころ、ホラーマンから星にはいろんな色があることと、空はいろんな色に変わることを教わるドキンちゃん。 「空の色を自由にしたい！」といつものワガママを言い出します。
	チョコちゃんに叱られる プラネタリウムスペシャル	令和3年7月 ～ 令和3年度	NHKの人気番組がプラネタリウムに登場です。永遠の5歳児・チョコちゃんがドームスクリーンいっぱい大活躍。 「ボーッと生きてんじゃねーよ！」お馴染みの決めセリフも大迫力で飛び出します。

一般	ポケットモンスター オーロラからのメッセージ	令和2年9月 ～ 令和3年度	サトシとゴウは、サクラギ研究所のリサーチフェローとしてスイクンとオーロラの関係を調査するため、オーロラビレッジへと向かう。そこにはオーロラ研究者を父に持つ少女エマや、雪原で暮らすたくさんのポケモンたちとの出会いが待っていた。そんなサトシたちの前に、ピカチュウをゲットしようとロケット団が現れる。果たして無事にオーロラへたどり着き、スイクンに出会うことができるのでしょうか!?
	ヒーリングアース	令和3年2月 ～ 令和3年度	南米・ウユニ塩湖の湖面が鏡のように映し出す星空、北欧・スヴァールバル諸島の極夜に現れる色彩が変幻自在に変化するオーロラ、ハワイ島にある国立天文台すばる望遠鏡の超高解像度カメラ HSC が捉えた高精細な星々の姿 全てを20K 以上の実写画像を基に映像化した究極のヒーリング科学番組。
	忍たま乱太郎の宇宙大冒険 やっぱり地球は回っていたの! 段	令和3年6月 ～ 令和3年度	ある日、イタリア・ピサから来たという少年・レオ(ガリレオ)が現れる! 天文学者のコペルニクスが記した「地動説」にまつわる本を読んでいたところだったという。地動説の真実を知りたいレオの前にあやしげな雰囲気をもった乱太郎がやってきて・・・!?
	さぬきこどもの国 オリジナルプラネタリウム番組 さぬきから宇宙へ	平成22年3月 ～ 令和3年度	香川県が制作した番組。スペースシアターを飛び出し、宇宙の果てまで旅をする。デジタルプラネタリウムならではの工夫と効果が満載の作品。
	さぬきこどもの国 オリジナルプラネタリウム番組 ほしのおもいで	平成22年3月 ～ 令和3年度	香川県が制作した番組。男の子とおばあさんの会話から、香川県の歴史や思い出をたどる作品。

○プラネタリウム学習番組

分かりやすく、楽しく宇宙について学べる下記番組を上映した。上映時間40分(星空解説を含む)

対象	番組名	投影期間	内容
幼児 小学校 低学年	あひるのガックン おほしさまの せかいへ	平成22年3月 ～ 令和3年度	星の世界へやってきたあひるのガックン。わがままなガックンが、星の世界の妖精や星座達に助けられ、思いやりの気持ちが芽生える作品。
	ほしのくにで みつけた たからもの	平成23年5月 ～ 令和3年度	病気のキキを助けるため、主人公のたっくんがこぐま座のアルとともに、どんな病気でも治る不思議なミルクを探しに星の国へ向かうファンタジー作品。
幼児 小学校 低学年	サラの ねがいごと	平成25年4月 ～ 令和3年度	主人公サラは日照り続きで今にも枯れそうなアジサイを助けるため、「くも」と「かぜ」と「カミナリ」に力を借りて、雨を降らそうとする。

	ケンタのほしさがし ～イルカのドルと だいぼうけん～	平成26年4月 ～ 令和3年度	ケンタの姉は星が大好き。だけど姉と遊びたいケンタは「星なんか無くなればいいんだ」と言ってしまう。すると、空に輝いていた星が全部隠れてしまったので、イルカのドルといっしょに、星を探しに行く作品。
小学校 中学年	宇宙クイズ王選手権 ～ダークキングからの 挑戦状～	平成25年4月 ～ 令和3年度	カズキは宇宙クイズで、ダークキングに勝たなければ太陽が奪われてしまう。ちょっと頼りないお助けキャラ「コスモ」の力を借りて、ダークキングに勝負を挑むクイズ形式の作品。
	さぬきこどもの国 オリジナル学習番組 月と星のひみつ	平成22年3月 ～ 令和3年度	香川県が制作した番組。さぬきこどもの国のキャラクターの「たいようくん」と「きらりちゃん」を起用。 さぬきこどもの国の竜神様の魔法を使い、月の形の変化をはじめ、月と星について学ぶ作品。
小学校 高学年	さぬきこどもの国 オリジナル学習番組 対決！月 VS 太陽	平成22年3月 ～ 令和3年度	香川県が制作した番組。さぬきこどもの国のキャラクター「たいようくん」と「きらりちゃん」が、さぬきこどもの国の竜神様の魔法を使い、月と太陽について学ぶ作品。
小学校 中学年 ～ 中学生	さぬきこどもの国 オリジナル学習番組 宇宙探偵 ロッキンハイム	平成22年9月 ～ 令和3年度	香川県が制作した番組。星空の宝石シリウスがドクター・ゲイルに盗まれた。宇宙探偵ロッキンハイムが助手と共に宇宙の謎を解き、シリウスを取り戻す。物語を楽しみながら知識を身につけることができる作品。

○ 全天周映像番組

大迫力の全天周映像で、宇宙や恐竜について学べる下記番組を上映した。上映時間は各30～40分

対 象	番 組 名	投影期間	内 容
一般	名探偵コナン ～灼熱の銀河鉄道 (キャラクターレイアウト)～	令和2年6月 ～ 令和3年度	宮沢賢治の世界を再現したテーマパーク、イーハトーブワールドの銀河鉄道列車に乗ることになったコナンたち。幻想的な星空の世界を満喫していると突然、キッドからの予告状が届く。繰り広げられる、キッドとのお宝争奪戦！しかしそこには思いもしない罠が仕掛けられていた。
	ディノ・ダナ 図鑑から出た ティラノサウルス	令和3年7月 ～ 令和3年度	ダナは恐竜が大好きな元気いっぱいの子。ダナが持つ「恐竜図鑑」には、とっても不思議な力が…。なんとイメージした恐竜を現実世界に現すことができるのです！ある日、図鑑から現れた恐竜が大暴れしてしまい…。
	かいけつゾロリ きょうりゅうのたまご	令和3年7月 ～ 令和3年度	ゾロリとイシシ&ノシシは、たまごが産まれたとの知らせをきいて、恐竜の住む南の島“おっとつ島”を訪れます。その夜巨大台風が島を直撃。恐竜のたまごが海に放り出されてしまいます。たまごを追ってゾロリたちも荒れ狂う海へ。ゾロリたちの大冒険が始まります！

一般	ハナビリウム ～花火って、なんであるの？～	令和2年7月 ～ 令和3年度	花火の真下！奇跡の実写映像。現役の花火師が試行錯誤の末、全く新しいプラネタリウムを誕生させました。400年以上にわたって花火に込められてきた文化と歴史の物語が、主人公「ヒバナ」の成長を軸に紐解かれる、世代を超えて大切なことを学べる作品です。
	えんとつ町のプペル (3ヶ月限定上映)	令和3年10月 ～ 令和3年12月	4,000メートルの崖にかこまれ、その世界を知らない町がありました。あるとき、夜空をかける配達屋さんが、煙をすってせきこんで、配達中の心臓を、うっかり落としてしまいました。えんとつ町のはずれのゴミ山で、ドクドクあばれる心臓に、ゴミがあれこれくっついて、とつてもくさいゴミ人間が生まれたのです…。
	ライフ いのちをつなぐ物語 (3ヶ月限定上映)	令和4年1月 ～ 令和3年度	陸・海・空、すべての動物を捉えた BBC 史上最大のネイチャードキュメンタリー「ライフ」がジャイアントスクリーン版で登場。動物たちの息づかいまで聞こえてくるような迫力の映像に乗って、さあ未開の感動世界へ！

③ 工房等運営事業

工房名	事業内容
美術	紙筒や紙袋、画用紙や毛糸など身近な素材を使って作る工作やミニイベント「だれでもアート」を実施した。年齢によって様々な工夫が見られ、制作過程を楽しめるプログラムとなった。
科学	風のパワーや食べ物の色素等をテーマにした工作を実施した。ミニイベント「わくわくサイエンスタイム」では、通常プログラム（工作）とテーマを合わせて実施し、より科学の不思議に迫れるような内容の充実を図った。
音楽	乳幼児向け音楽イベント「ごきげんパーク♪」や様々な音楽活動が楽しめる「わくわくミュージックタイム」、県内で音楽活動をしている団体を出演者として招き、パフォーマンスを楽しむ「ときめき☆SHOW TIME」を行った。
コンピュータ	学校の教科書に合わせた国語や算数等の学習ソフトを提供した。令和4年2月27日にコンピュータ工房のリニューアルを行った。

④ こども劇場運営事業

子どもたちの健やかな心身の発達を促す運動遊びや親子遊び、管楽器のコンサート等の企画の実施や備品、投影システム等のメンテナンスを定期的に行った。

⑤ 科学体験ゾーン等運営事業

・遊びコーナー運営

「宇宙」をテーマとする「月面探査」「ジャイロ効果」「ケプラーの法則」「宇宙服」等の展示物と冒険的な要素を持ったネットやチューブ等を利用した複合遊具「スカイネット」を提供した。木の玉プール

は新型コロナウイルス対策のため、引き続き利用を休止した。

・科学体験コーナー運営

巨大なジェットエンジン等の展示物、飛行機モビール、鳥や飛行機が飛ぶ原理等を遊びながら理解できる科学体験装置等を通して、想像力と創造性に富んだ遊びや科学体験のできる場を提供した。令和4年1月～2月は児童館2階リニューアル工事（香川県）のため利用を中止した。

・幼児コーナー運営

木と触れ合う「木育」を通じて、子どもや保護者に木への愛着や魅力を感じてもらえる場所として、香川県産ヒノキを使用した「とんがりすべりだい」、乳幼児と保護者が木のおもちゃで一緒に遊べる「もくもくのへや」の環境整備を行った。

⑥ ギャラリー運営事業

概ね3か月毎にテーマを設け、遊びの文化や日本の伝統行事を紹介する展示等、子どもから大人まで楽しめる展示を行った。また、さぬきこどもの国のイベント情報等を展示するとともに、絵本の閲覧やおもちゃで遊ぶコーナー等、ギャラリー機能の充実を図りながら情報の発信に努めた。

⑦ 屋外施設運営事業

・サイクルセンター運営

サイクリング自転車・マウンテンバイク自転車・変わり種自転車の貸出業務を行った。（新型コロナウイルス対策のため、人数制限を実施）また、利用が多く人気のある施設であるため、老朽化した自転車の更新を行った。

・YS-11型航空機展示場運営

戦後、日本のメーカーが開発した初の旅客機であるYS-11型航空機の機内公開を行った。（新型コロナウイルス対策のため、人数制限を実施）多くの子どものみならず、大人たちも操縦席に座り、パイロット気分を味わっていた。

・琴電車両60形62号展示場運営

戦前・戦後にわたり、日本一長い年数走り続けた電車である琴電車両60形62号の車内公開を行った。座席に座り、乗車気分を味わうだけでなく、運転席に座り、車内アナウンスや運転手気分を味わう姿が見られた。また、車両の塗装の傷みが目立ってきたため、閑散期に合

わせて、車体の塗り直しを実施した。

・芝生広場運営

子どもたちのくつろぎの場や屋外の飲食スペースとして提供するとともに、「集まれ！！わんぱくキッズ」等の各種行事を行った。また、春から秋にかけて多くの子どもたちが水遊びを楽しむミルキーウェイ（流水路）は、新型コロナウイルス対策のため、10月のみ流水し、その他の期間は利用を休止した。

(3) 支援・啓発事業

10,945千円

本県の児童健全育成に係る中核的な施設として、県内の子育て支援に携わる人を対象とした研修会をはじめ、県内児童館の活性化を図る事業を実施した。

① 児童館運営支援事業

子どもの健全育成や子育て支援に関わる支援者を対象とした研修会を開催し、子育て支援のあり方等について学び、支援者としての資質向上を図った。児童館、子育て支援施設等の遊びの充実を図ることを目的に遊びの道具を貸し出す「あそびのサポート事業」を行った。

また、香川県児童館連絡協議会事務局の運営を行い、県内児童館活動の活性化を目的に活動経費の一部を助成する「児童館活動サポート事業」等を行った。

(児童館職員等研修会の開催状況)

回	開催日	場 所	対 象	内 容
1	6月29日(火) 10:00～12:00	さぬきこどもの国 研修室	児童館長 児童館 職員等	令和3年度第1回香川県児童館職員等研修会 「集団援助活動～つながる力を育む～」 講師：四国学院大学非常勤講師 島影 俊英 (22人)
2	7月15日(木) 10:30～12:00	さぬきこどもの国 研修室	児童館長 児童 厚生員等	令和3年度第2回香川県児童館職員等研修会 「こどもが自由に自分を表現できるアート 活動～とびだせ！冒険の世界へ！～」 (表現活動) 講師：アトリエ iroiro 代表 後藤 さゆり (22人)
3	12月3日(金) 9:30～11:30	さぬきこどもの国 研修室	児童館長 児童 厚生員等	令和3年度第3回香川県児童館職員等研修会 「健全育成論」 講師：(一財)児童健全育成推進財団 水野 かおり (21人)
4	2月16日(水) 10:00～12:00	さぬきこどもの国 研修室	児童館長 児童館 職員等	令和3年度第4回香川県児童館職員等研修会 「キャンバスに描く(表現活動)」 講師：絵のきょうしつ 上野 あづさ (8人)
5	3月8日(火) 10:00～12:00	さぬきこどもの国 研修室	児童館長 児童 厚生員等	令和3年度第5回香川県児童館職員等研修会 「地域福祉活動」 講師：八王子市立川口児童館 館長 井垣 利朗 (20人)

(支援者研修会開催状況)

回	日 時	場 所	対 象	内 容
1	7月10日(土) 10:00～12:00	さぬきこどもの国 研修室	県内の 子育て 支援に 携わる方	「マジックと絵本と音楽のセミナー ～こどもの世界を彩る3つの魔法～」 講師：大友 剛 (ミュージシャン、マジシャン) (22人)
2	11月2日(火) 13:00～16:00 11月3日(水) 9:30～12:00/ 13:00～15:30	さぬきこどもの国 こども劇場	県内の 子育て 支援に 携わる方	「運動あそび実践研修会～運動あそびって楽 しい！みんなで作る運動あそびPark～」 講師：山田 恭平 (ルーデンスジャパン代表理事) (17人)

② ボランティア事業

ボランティアの募集・登録については、随時募集を行い意欲的な人材の確保を行った(既登録者数121人)。また、作品制作や絵本の読み聞かせを中心とした自主企画等を行った。

さぬきこどもの国のボランティア活動の活性化や活動の場を広げることが目的に、ボランティア自身が企画した遊びを持って県内の児童館へ出向く「出張！わくティア事業」を4回実施した。また、高校生を対象としたボランティア体験事業「高校生1DAYボランティア」を1回開催した。

③ 広報啓発事業

子育て支援や地域児童館に関する情報等を掲載した「さぬきこどもの国NEWS」のデザインを一新。偶数月毎に40,000部ずつの発行し、県民に広く情報を周知した。また、新しく公式インスタグラムを開始しHPやFacebookと共に情報発信を行ったほか、積極的にマスコミへの情報提供にも努めた。

④ 調査研究・情報提供事業

調査研究事業は数年に1回のペースで冊子を発行しているが、今年度はその準備期間として、遊びのプログラムの記録を行った。また情報提供事業として、令和3年度は公式ホームページの全面リニューアルを行い、スマホでも見やすくなるようにレスポンスデザイン化を行った。新しいホームページには、イベント検索機能や小さなお子さま連れの方へ向けたページ、身障者の方に向けたページ等を追加し、利用者の状況に応じた情報提供が可能になった。その他、児童館2階の子育て支援団体の活動チラシの設置コーナーで家庭や支援者に対する情報提供を行った他、閲覧用図書等の充実に努め、定期的に入替を行った。

⑤ 相談事業

- ・子育て相談「はぐくみ Room」の開催（実施回数28回/相談人数29人）

臨床心理士による子育て相談活動を毎週土曜日に実施し、0才～18才までの子どもの保護者からの個別相談を受けた。

- ・子育て相談「はぐくみ広場」の開催（実施回数16回/相談人数65人）

助産師や栄養士による子育て相談活動を隔週木曜日に実施した。

- ・子育て相談事業「まめっこデー」の開催（実施回数6回）

乳幼児期の保護者を対象に、助産師さんによる遊び方の紹介や、栄養士さんによる離乳食講座、バランスボールを用いた産後セルフケアの講座を実施。それぞれ、相談の時間を設けることで、その時期の子どもとの関わり方を学び、子どもとの良好な関係づくりを図った。

- ・子育て相談事業「親子で本気で遊ぶ！～思春期子育てとどう向き合うか～」の開催（実施回数2回）

思春期の親子を対象としたワークショップを通して、お互いの考えを認め、尊重し合うことで良好な関係づくりのきっかけとするとともに、専門家からの保護者向けのミニ講座も行い、思春期の子どもへの理解を深める機会とした。

- ・地域団体・子育て支援関係団体等と連携した相談事業の実施
一般社団法人香川県助産師会と連携して、毎月第2土曜日に「助産師のほっと相談室」を7回開催した。また、子どもの発達に不安を抱える保護者を対象に、相談者と同じ立場にあるペアレントメンターが相談や助言を行う「ペアメンCafé」を、NPO法人ペアレントメンターかがわと連携して3回開催し、公益社団法人香川県看護協会と共催で「まちの保健室」を1回開催した。

- ・子育て相談事業「おもちゃ体験会」の実施

もくもくのへやに、木のおもちゃ専門店が用意したおもちゃも設置し、様々な木のおもちゃに触れる機会とした。子どもの興味関心に合ったおもちゃの見つけ方や月齢に応じたおもちゃの選び方等を適宜専門家から助言いただき、親子ともにリフレッシュできる場となった。

- ⑥ ネットワークづくり事業

さぬきこどもの国で実施している遊びのプログラムを持って県内の児童館、放課後児童クラブ、子育て支援施設等に職員が出向く「遊びの宅配便」を県内53か所で実施した。また、これまであまり児童館を利用したことがない層に対して児童館をPRする「動く！あそびパーク」を、丸亀町グリーンけやき広場で1回、観音寺市子育て支援センターで1回実施した。その他、支援者向け事業として、当館職員が講師として出向く「支援者向け講師派遣事業～遊びについて考える会～」を県内5か所で実施した。

- ⑦ 子育て支援事業

親子で遊ぶ場を提供することにより、親子の関係づくりや親同士・子ども同士の交流を促進し、子育ての楽しさを実感できるように幅広く子育て支援事業を実施した。

- ・おやこあそびネットワーク事業

「おやこあそびParty☆」の開催（実施回数2回）

地域で親子遊びを主とする活動を行う子育て支援団体と協働で親子遊びのイベントを実施し、参加者に様々な親子遊びを提供するとともに、子育て支援情報や団体の活動内容を紹介した。

- ・「親子であそぼ！ぐう・ちょき・ぱあ」の開催（実施回数16回）

スキンシップ遊びや制作等遊びのプログラムを通して、親子の良好な関係づくりを促した。

・「かぞく・ツナグ・あそび」の開催（実施回数6回）

「家族で遊びながら感じる、つながる」をテーマにしたイベントを実施した。家族と一緒に活動する中で、子どもの成長を感じ、子どもと過ごすかけがえのない時間に気づき、共通の話題を持つことで、親子や家族間のコミュニケーションを更に深めた。

・「だんらんtime」の開催（実施回数7回）

様々なカードゲームやボードゲームを提供し、親子や祖父母など世代間の交流を図る「だんらんtime」を毎月第2土曜日に開催した。

・「モクモクおもちゃ広場」の開催（実施回数1回）

香川県環境森林部みどり整備課との共催で、香川県産ヒノキでできた積み木やジャングルジム、木製ままごとセット等、色々な木のおもちゃで遊べる広場を実施した。

・「はぐくみ×カレッジ」の開催（実施回数3回）

地域の大学（3校）と協働で、親子のスキンシップが図れる遊びのプログラムを企画し実施した。

（はぐくみ×カレッジの開催状況）

回	日時	共催大学	内容
1	6月27日（日） ① 10:30～11:30 ② 13:30～14:30	高松短期大学 保育学科	絵本「ぐりとぐら」を題材とした人形劇と、その続きをイメージさせる親子のふれあい遊びを行った。 (① 55人 ②51人)
2	12月4日（土） ① 10:30～11:30 ② 13:30～14:30	四国学院大学 社会福祉学部 保育士養成コース	クリスマスをテーマにした、様々なゲーム遊びを行った。 (① 40人 ②31人)
3	2月26日（土） ① 10:30～12:00 ② 13:30～15:00	香川大学教育学部 幼児教育コース	スマホのライトなどを用い、“光”をテーマとした参加型の劇遊びを行った。 (① 25人 ②50人)

収 1 さぬきこどもの国における自動販売機設置等事業

自主事業

収入 11,328千円

支出 11,344千円

新型コロナウイルス対策のための臨時休園や休館等により、来園者数が減少し、自主事業が減収となったため、「かがわ安心飲食店認証取得補助金」や「雇用調整助成金」の申請を行った。

SDGsの取り組みとして、喫茶コーナーで使用しているプラスチック容器を可能な限り紙容器に切り替え、環境保全に努めた。また、3人以上の子どもがいる多子世帯を社会全体で応援する機運の醸成と経済的負担の軽減を目的に香川県が行っている「さんさんパスポート事業」に加盟し、子育て支援としてのサービスの提供を行った。

令和3年度 企画事業等実施報告

令和3年度の企画事業は、新型コロナウイルス対策として内容や規模に配慮しながらも、なるべく多くの子どもたちに楽しんでもらえる企画を実施。それに伴い、屋内の劇場やシアターのほか、季節や天候に合わせて屋外エリアも活用した。また、リニューアルした1階遊具やシアターを活用し、宇宙や科学技術への興味関心を育むイベントを実施した。その他、県内の学校関係とのコラボ企画やNPO団体、企業との共催イベントも行った。なお、例年行っている「児童館フェスティバル」「こどもフェスティバル」「子育て支援フェスティバル」は中止した。2階のリニューアルオープン記念式典も中止となった。(★…リニューアル遊具及びシアター関連企画)

月	日(曜)	事業名	参加人数
4	10(土)	① ★オンライン海外旅行!～中国・陝西省編～(シアター)	38人
	11(日)	② さぬきこどもの国 東ウイング東屋披露式(YS-11横)	120人
	29(木・祝)	中止 開館記念日の集い～響け!親子太鼓～(芝生広場)	
5	2(日)	中止 funfun!ミュージック♪(劇場)	
	3(月・祝)～5(木・祝)	中止 ゴールデンウィークを家族で楽しむ♪ 特別プログラム(芝生広場・館内)	
	3(月・祝) 配信開始	③ GW特別動画配信ドミノでめぐるわくわく児童館!(オンライン)	3,919回
6	6(日)	中止 第16回人権フェスティバルinたかまつ(劇場・芝生) 【大型】	
	27(日)	④ はぐくみカレッジ① 高松短期大学(劇場)	106人
7	3(土) 4(日)	⑤ ★キッズプラネタリウム～七夕ものがたり～(シアター)	170人
	4(日)	⑥ 七夕☆おねがいライトアップ(研修室・劇場)	784人
	22(木・祝) 23(金・祝)	⑦ ★宇宙飛行士検定 初級編(科学前・研修室)	566人
	25(日)	⑧ 電波教室(研修室)	70人
8	3(火) 4(水)	⑨ プログラミング体験(科学前)	159人
	15(日)	⑩ 骨ほね大発見!!(オンライン)	104人
9		中止 新型コロナウイルス感染拡大防止のための臨時休園に伴い全ての企画事業を中止・延期	
10	3(日)	中止 かがわ子育て支援フェスティバル2021(芝生広場・劇場) 【大型】	
	9(土) 10(日)	⑪ お遍路ウォーキング(芝生広場・サイクルロード・東屋)	144人
	30(土)	⑫ ハワイアンミュージック(芝生広場)	150人
	31(日)	⑬ こどもが撮る写真ワークショップ(YS-11横)	33人
11	3(水・祝)	⑭ 瀬戸フィル～そよ風コンサート～(芝生広場)	300人
	21(日)	⑮ わくわく無限大!鍵盤ハーモニカコンサート♪(劇場)	148人
	23(火・祝)	⑯ ★熟睡プラネタリウム(シアター)	117人
	27(土)	⑰ ANA航空教室(劇場)	78人
12	4(土)	⑱ ようこそ、夜の理科室へ(劇場・工房・科学前)	29人
	4(土)	⑲ はぐくみカレッジ② 四国学院大学(劇場)	71人
	5(日) 25(土)	⑳ ★星空ミュージック(シアター)	199人
	11(土)	㉑ ★宇宙飛行士検定 講演会(劇場)	71人
	12(日)	㉒ ★宇宙飛行士検定 上級編(劇場)	36人
	25(土)	㉓ パベレッタ劇場(劇場)	124人
1	3(月)	㉔ ★キッズプラネタリウム～みんなでお正月～(シアター)	133人
	8(土)	㉕ 輝け中高生①～奏でる琴の音色～(劇場)	55人
	10(月・祝)	㉖ Scratchでゲーム作り体験(研修室)	41人
	4月～1月にかけて実施	㉗ ★JAXA全国小・中学生絵画コンテスト ※応募館として協力(作品募集期間7月～9月12日) 主催: JAXA他	30人
2	20(日)	㉘ オンライン・サイエンス(オンライン)	43人
	26(土)	㉙ はぐくみカレッジ③ 香川大学(劇場)	75人
	27(日)	中止 2階リニューアル記念式典(科学体験ゾーン)	
	27(日)	㉚ ★チャーリー古庄の世界の飛行機の話(シアター)	111人
	27(日)	㉛ 名画deコラージュ(劇場)	22人
	7月～12月にかけて実施	㉜ インスタグラムフォトコンテスト/表彰式(インターネット・シアター)	107件
3	5(土)	㉝ 日赤防災企画(劇場) ※日赤香川県支部との共催	535人
	20(日)	中止 親子で楽しもう!ファミリーコンサート♪(芝生広場・雨天劇場)	

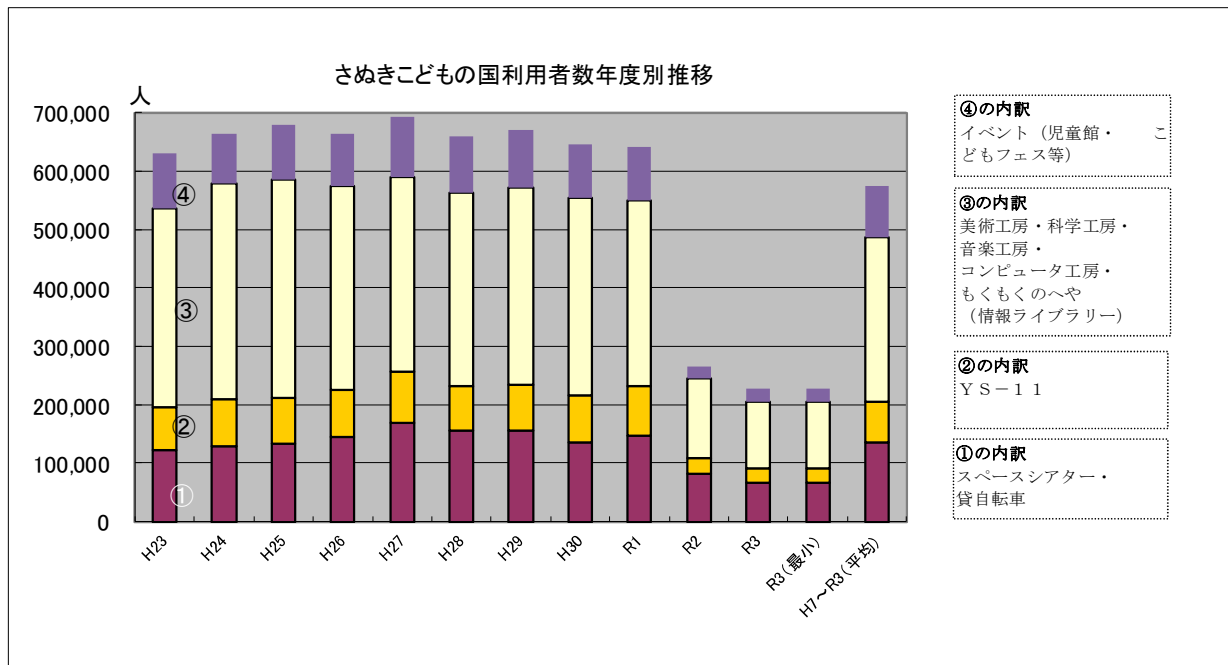
さぬきこどもの国利用者数年度別推移

(単位：人)

区分	来園者数		有料施設利用者数 (スペースシアター・貸自転車)		YS-11見学者数		工房等利用者数		イベント等参加者数	
	利用者数	指数	利用者数	指数	利用者数	指数	利用者数	指数	利用者数	指数
H 2 4 年度	664,809	96	128,929	76	80,285	91	370,227	112	85,368	83
H 2 5 年度	680,006	98	132,916	79	77,857	88	373,920	113	95,313	92
H 2 6 年度	664,372	96	145,493	86	80,330	91	349,412	105	89,137	86
H 2 7 年度	692,318	100	168,766	100	88,661	100	331,651	100	103,240	100
H 2 8 年度	658,782	95	155,803	92	75,205	85	333,052	100	94,722	92
H 2 9 年度	671,483	97	155,554	92	77,533	87	338,040	102	100,356	97
H 3 0 年度	645,287	93	135,468	80	81,155	92	337,888	102	90,776	88
R 元年度	640,726	93	146,911	87	84,372	95	317,371	96	92,072	89
R 2 年度	264,956	38	81,801	48	27,445	31	135,736	41	19,974	19
R 3 年度	226,462	33	66,993	40	24,034	27	114,874	35	20,561	20

注) 指数は27年度を100とした場合である。

参 考	R 3 年度 (最少)	226,462	33
	H 2 7 年度 (最多)	692,318	100
	H 7 ~ R 3 年度 (平均)	573,839	83



公2 県立五色台少年自然センター及び県立屋島少年自然の家における給食管理等事業

3. 五色台事業所

(1) 提供する給食等の管理業務

5,369千円

五色台少年自然センターにおいて、中学校集団宿泊学習（日帰り活動を含む）の生徒（29校、延4,355人）をはじめ、学校行事、子ども会活動など社会教育関係団体等の利用者並びに同施設が主催する事業の参加者に対し、食事献立の作成等、給食の管理業務を行った。

(2) 施設維持管理業務

5,027千円

五色台少年自然センターの清掃、ボイラー、寝具等の維持管理に関する業務を行った。

(3) 青少年の健全育成事業

107千円

五色台少年自然センターとの共催により、青少年の健全育成に係る事業を行った。

五色台少年自然センターの利用者数

(単位：人)

利用区分		年 度					
		H29年度	H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	
施設内	中学校集団宿泊学習	校数(校)	36	37	36	19	29
		延べ利用者数(人)	20,222	17,321	17,318	2,651	4,355
	上記以外 (小・中・高校生、 少年団体等)	団体数(団体)	74	84	80	54	67
		延べ利用者数(人)	8,328	8,090	7,367	2,761	3,129
	計	団体数(団体)	110	121	116	73	96
		延べ利用者数(人)	28,550	25,411	24,685	5,412	7,484
施設外	出前授業 (小・中学校)	校数(校)				11	11
		延べ利用者数(人)				1,243	942
合 計	団体数(団体)	110	121	116	84	107	
	延べ利用者数(人)	28,550	25,411	24,685	6,655	8,426	

(備考)

- 1 出前授業は、五色台少年自然センターの職員が小中学校に出向いてクラフト活動を行うもの。
- 2 自然科学展示室の利用者を含まない。

令和3年度青少年健全育成事業一覧

事業名	開催日	事業内容	募集人数	応募数	参加者
春の五色台を楽しもう	4月10日（土）	早春の遍路道を歩いて、郷土の文化や自然に触れる	5グループ	10グループ	12人
星を見る会	4月17日（土） ～3月19日（土） （全10回）	大型望遠鏡を中心とした天体観測	各回20人	636人	79人
実践アウトドア体験	5月9日（日）	野外活動初心者を対象に、野外炊事や事前散策などの体験	5家族	51家族	21人
親子自然体験教室	4月24日（土）	新緑の五色台で、自然散策や植物観察を通じて自然に親しむ	6家族	15家族	15人
	5月23日（日）	小学生及びその家族を対象とした干潟の生き物観察	6家族	224人	中止
	7月24日（土）	小学生及びその家族を対象とした紙漉き	5家族	35家族	16人
	7月31日（土）	小学生及びその家族を対象とした化石レプリカ作り	6家族	90家族	18人
	8月1日（日）	小学生及びその家族を対象とした草木染め	5家族	55家族	16人
	3月12日（土）	家族で望遠鏡の使い方の基礎を学び、天体観測	4家族	12家族	中止
自然科学展示室企画展	7月17日（土） ～8月11日（水）	「世界の“キラめく”昆虫たち」を主題に、美しく輝く昆虫を展示する	—	—	—
家族でCAMP	7月10日（土） ～7月11日（日）	テント泊、野外炊事を通じてキャンプの楽しさを味わう	5家族	72家族	19人
自然と遊ぶサマーキャンプ	7月22日（木） ～7月24日（土）	小学5年生から中学3年生を対象とした夏の五色台での体験活動（野外炊事体験等）	20人	中止	中止
流れ星を見よう	8月12日（木）	ペルセウス座流星群の観察	40人	362人	中止
家族で昔遊びともちつき体験	1月8日（土）	昔から伝わる凧作り体験や、杵と臼を使った伝統的な「もちつき」体験	3家族	45家族	12人
家族でうどん作り	3月12日（土） 3月13日（日）	「いろりの家」での手打ちうどん作り	各3家族	9家族	中止

※「星を見る会 第2回（5月15日）、第4回（8月21日）、第5回（9月25日）、第9回（1月15日）」、第10回（3月19日）」、「親子自然体験教室2（5月23日）、親子自然体験教室6（3月12日）」、「自然と遊ぶサマーキャンプ（7月22日～24日）」、「家族でうどん作り（3月12日、13日）」は新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止とした。

※「流れ星を見よう（8月12日）」と「星を見る会 第6回（10月16日）」については、天候不良のため中止とした。

4. 屋島事業所

(1) 給食等の管理業務

5,572千円

屋島少年自然の家において、中学校集団宿泊学習に代わる体験学習（日帰り活動）の生徒（22校、2,740人）をはじめ、小学校やスポーツ少年団等の利用者及び同施設が主催する事業の参加者に対し、食事献立の作成等の給食管理業務及び飲料水やクラフト材料等の提供業務などを行った。

(2) 青少年の健全育成事業

55千円

屋島少年自然の家との共催により、浜辺散策や自然観察活動など、児童・生徒が自然と触れ合う場を提供し、創造力の開発や自然に親しむ心の涵養など、青少年の心身の健全育成を図った。

屋島少年自然の家の施設利用者数

(単位：人)

利用区分		年 度					
		H29年度	H30年度	R 元年度	R2年度	R3年度	
施設内	中学校集団宿泊学習	校数(校)	26	28	26	10	22
		延べ利用者数(人)	9,403	9,449	9,019	1,192	2,740
	上記以外 (小・中・高校生、 少年団体等)	団体数(団体)	168	199	184	57	56
		延べ利用者数(人)	21,534	22,119	22,855	2,916	3,826
	計	団体数(団体)	194	227	210	67	78
		延べ利用者数(人)	30,937	31,568	31,874	4,108	6,566
施設外	出前講座 (小・中学校)	校数(校)				21	0
		延べ利用者数(人)				1,618	0
合 計		団体数(団体)	194	227	210	88	78
		延べ利用者数(人)	30,937	31,568	31,874	5,726	6,566

(備考)

- 1 出前講座は、屋島少年自然の家の職員が小中学校に出向いてクラフト活動等を行うもの。
- 2 塩水プールの利用者数を含まない。

令和3年度青少年の健全育成事業一覧

(単位：人)

事業名	開催日	事業内容	募集人数	応募数	参加者
親子でサマーキャンプ	7月24日(土) ～7月25日(日)	小学生(1～6年生)とその保護者を対象とした体験活動(カヌー、クラフト作り、親子レクリエーション)	20	中止	中止
サマーチャレンジイン屋島	7月29日(木) ～7月30日(金)	小学5年生から中学3年生を対象とした夏の屋島での体験活動(いかだ活動、キャンプファイヤー)	20	中止	中止
親子でカヌー	8月8日(日) 8月9日(月)	小学生(1～3年生)とその保護者を対象としたカヌー教室	36	390	19
屋島で秋を探そう	11月21日(日)	小学生(3～6年生)とその保護者を対象とした秋の屋島での体験活動(浜辺散策、魚釣り)	20	63	20
ウインターチャレンジイン屋島	1月23日(日)	小学4年生から中学3年生を対象とした冬の屋島での体験活動(屋島登山、ウォークラリー、ボッチャ体験)	20	21	中止
親子で打ち込みうどん	2月20日(日)	小学生(1～6年生)とその保護者を対象とした冬の屋島でのうどん作り体験活動	20	中止	中止
屋島で春を探そう	3月6日(日)	小学生(1～6年生)とその保護者を対象とした春の屋島での体験活動(レザークラフト、ハイキング)	20	32	中止
親子でファイヤーマスター	3月13日(日)	小学生(1～6年生)とその保護者を対象とした屋島での火起こし体験活動	20	52	中止

※「親子でサマーキャンプ(7月24日～25日)」「サマーチャレンジイン屋島(7月29日～30日)」「ウインターチャレンジイン屋島(1月23日)」「親子で打ち込みうどん(2月20日)」「屋島で春を探そう(3月6日)」「親子でファイヤーマスター(3月13日)」は新型コロナウイルス感染拡大防止のため、8月9日の「親子でカヌー」は悪天候のため、中止とした。